

つくばサイエンスカフェ

SCIENTIA

スキエンティア
2016

スキエンティア
～scientia～とは、ラテン語で

“science”の語源となった言葉です。

科学の基は“なぜだろう!?”と思う

人間の好奇心から始まっています。

そんな科学の基本に戻るとい

意味を込めて～scientia～という

サイエンスカフェを開催します。

素朴な疑問を大事に、サイエンスを

気楽に楽しむイベントです!



<http://rtcweb.rtc.riken.jp/access/access.html>

理化学研究所へのアクセス

JR常磐線「牛久駅」西口から関東鉄道バス利用・・・約15分
つくばセンターからつくばバス南部シャトル利用・・・約20分

申し込み方法

(メールまたはFAXにて)

- ①氏名(参加者全員分) ②連絡先(当日連絡がつく番号) ③大人又は学生(学年まで記載)
④このイベントをお知りになったきっかけ ⑤当日の交通手段(自家用車の方はナンバーも明記)
以上をご記入の上、メール、またはFAXにてご連絡ください。

主催 | 一般財団法人 茨城県科学技術振興財団、国立研究開発法人 農業・食品総合研究機構
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3 (つくば国際会議場内)

T E L 029-863-6868 (平日9:00～17:00)
F A X 029-861-1209
E-mail kagaku@i-step.org

第1回目

酵素の力で
カンキツの皮を剥く!
「酵素剥皮」を体験しよう

日 時:平成28年11月22日(火)
18:00～20:00

募集定員:40名(先着順)・中学生以上

参加費:500円(お茶とお菓子が出ます)
集合:農研機構 食と農の科学館
18:00(現地集合・解散、駐車場有)

食欲の秋がやって参りました。
果物を十分に堪能するには、ナイフや刃物で
カットすると、細胞の損傷からドリップが出てし
まったり、熱を加えるとさわやかなフレーバーが
損なわれてしまったり・・・

今回は、農研機構の最前線の開発である、簡便
で安全な「酵素剥皮」という科学手法をワーク
ショップ形式で体験します。秋の夜長は研究所で
ちょっと変わった果物狩り(?!)を楽しんでみ
ませんか。

お土産に、「皮剥きつながら」で、農研機構の研究成果である、
渋皮がぼろっと剥ける日本クリ「ぼろたん」を差し上げます。

講師 ● 農研機構
食農ビジネス推進センター
主任研究員

のぐち まさき
野口 真己 先生

【プログラム】

- ・食と農の科学館 自由見学(約20分)
- ・ワークショップ
(酵素剥皮の技術について実演と体験60分)
- ・研究者との質疑応答(約20分)

Program